



第6号

# キャンパス通信

## 東洋学園大学 学生だより

本郷キャンパス

〒113-0033

東京都文京区本郷1-26-3

電話：03-3811-1696(代)

流山キャンパス

〒270-0161

千葉県流山市緒ケ崎1660

電話：04-7150-3001(代)

# 充実しています

緑に囲まれた流山キャンパス



—まず、高校時代の部活から話をしてください。

山本 野球部を3年間続けました。甲子園目指して、ほぼ毎日練習。しかし、3年の夏、準決勝で負けてしまいました。僕らが引退して、次の代の後輩たちが春の選抜に出場しました。

西川 私は3年間、現代舞踊、というダンス部に所属して、副部長もやりました。—本学をどうして知りましたか。

山本 高校で説明会があり、高校訪問の男性の方が来ていて、そこで初めて知りました。話を聞いて、この大学って良い

郷に行った時に、エスカレーターがあったり、とてもきれいなのに驚きました。山本 最初は、この大学のイメージというより、他の大学も含め、高校より自由だろうと感じました。しかし、説明などを聞いてみると、意外と授業のことなど大変そうだと感じました。

—さて、本学に入学して不安や気になることがありましたか。

山本 やはり勉強面です。高校と違い、大学では専門的なことも多いし、ついていけるか心配でした。友達ができるかも、少し不安でした。今は授業もがんば

## 人助けるため「心理」学ぶ 芯を持とう 阿部

なという印象を持ちました。本当は、地球環境コースの話を聞き、国際コミュニケーション学科に行こうと思い、本郷のオープンキャンパスにも3～4回参加しました。結果的には現代経営学科にしました。

西川 私も高校で説明会があり、入試室の女性の方にお話を聞きました。高校の説明会には、たくさんの大学が来ており、自分の志望していた大学の説明する人があまり良くなく、印象のよかったこの大学を志望することにしました。もともと英語が好きです。実家の近くに横田基地があり、高校時代からそこでの英会話に週1回参加していましたが、基地の中は本当に外国みたいなもの。留学を考えようになりました。

阿部 僕は高校時代、1年半野球をやっ

っています。新しいことをやるのは皆一緒なので、大丈夫。友人についても不安はありません。

西川 大学に入学する際、親元を離れて暮らすことになっていたのですが、ちゃんと生活していけるかが不安でした。親から自立し生活費などは自分でまかなっていきたくて考えていたので、大学とバイトの両立が気がかりでした。実際に入学して、もともと英語が好きだったので特に問題はなく、英語の授業もとても楽しいです。

—入学後はいかがでしたか。

山本 僕は、入学式で宣誓文を読むことになっていたのですが、とても緊張しました。



## 好きな英語授業楽しい 留学もしたい 西川

ていました。大学という学生会のようなものに3年間所属し、消防官を目指していましたが、落ちてしまい、人を助けるために必要なのは、「心理」と考え、この大学の人間科学科を受験することにしました。高校の指定校掲示板に他校とともに本学の情報が載っており、そこで知りました。僕の学校は工業系の付属高校だったので、本学の説明会はありませんでした。祖父がやっていた電気工事を自分もやろうと思い、中学から入学していました。今は、人生一度しかないもので、何でもやってみようと思っています。

—皆さんがオープンキャンパスなどに参加して、本学のイメージはどうでしたか。

西川 大きなと感じました。初めて本

阿部 僕も歓迎の辞を読みました。山本君など隣に座っていた宣誓の新生者が緊張していたのが分かり、皆一緒だなと感じました。

—オリエンテーションはどうでしたか。

西川 人文学部はスタンプラリーが自由



## キャンパス・ライフ座談会

出席者(敬称略)

人文学部人間科学科3年(学生会長)	阿部 寛
人文学部国際コミュニケーション学科1年	西川幸美
現代経営学部現代経営学科1年	山本一真
司会 学生部	加村善洋

今年4月、満開の桜の下で新たに東洋学園大学の一員となった新入生。彼らが入学してから早や3カ月がたちました。はじめは広いキャンパスに戸惑っていた新入生たちも、今では、昼休みに中庭のベンチでくつろいだり、English Loungeで勉強に励んだり、自分のお気に入りスポットを見つけているようです。しかし、3日・3カ月・3年目というのは、緊張も解け、新しく不安や疑問が出てくるころでもあります。そこで今回は、「入学前と入学後」「本郷キャンパスで学ぶ先輩の学生生活」というテーマで、人文・現代経営両学部の1年生と学生会長を務める3年生阿部寛君に語り合ってもらいました。

参加でしたが、私は参加しました。その中でも特に9号館2階事務室は知らないことばかりだったので、結構収穫があったと思います。

—大学では、課外活動をしていますか。

山本 野球を小・中・高と続けていたので、野球とは違うことをしたいと考え、中学時代に経験したバドミントン部に入りました。

## バドミントンでも汗流す 意中は公務員 山本

西川 私は「ふおとすたじお」という写真サークルに所属しています。友人が学内のポスターを見て、このサークルに入るといので、一緒に入りました。

阿部 僕は学生会以外に、「Friends」という、ボランティアサークルに所属しています。心理を勉強しているので、ボランティアもやってみたくて思ったのです。今は、学生会長の仕事があるので、Friendsにはほとんど行けていません。

—今、アルバイトはしていますか？

山本 カレー屋でやっています。

西川 土日だけ遊園地でアルバイトをしています。

—アルバイトは、何か自分のためにな

阿部 距離的なことや周りの環境など、全体的に考えて、本郷キャンパスが好きです。本郷キャンパスは周りにおいしいお店もたくさんあるので、グルメが楽しめます。ただ、僕は流山キャンパスも好き。流山キャンパスは自由な感じがします。

—将来についてどう考えていますか。

山本 僕は公務員志望です。やはり、不況なので、安定した職業に就きたい。

阿部 インターンシップを利用するのはどうでしょうか。市役所などもありますよ。

西川 私は、外資系の企業に入りたいと考えています。もともと英語が好きです。日本語以外の言語をたくさん使う会社で働いてみたい。できれば、海外で働きたい。今はまず、国内旅行業務取扱管理者試験を受けるつもりです。

阿部 僕個人は、消防官はもちろん、大学の職員なども視野にいれています。インターンシップではとても役立つことが多い。アルバイトや、学生会活動など、何でも挑戦してみることが大事だと思います。

—最後に、学生会長である阿部君から新入生へメッセージを。

阿部 大学1年から何でも挑戦し、アクティブに動くことが必要だと思います。まだ4年間大学生活を過ごしたわけではありませんが、3年生になり、自分自身の考えをしっかりとって大学生活を送ることが大事なことで僕を感じています。2年生になると、大学にもますます慣れ、だらけてしまう部分もあるかもしれませんが、しかし、3年生になってから取り戻すことはできません。芯を一本持っていないと、周りに流されてしまう可能性があります。自分自身を見失わないように、自分自身の考えを持ち充実した学生生活を送ってください。

—1年生のお二人からも一言を。

山本 阿部さんのお話を聞き、周りに流されないようにしていかなければと思いました。僕自身も自分自身の考えをしっかりと持ち、自分で動いていきたいと思いました。大学生活も充実させていけたらと思います。

西川 私自身も目標がありますので、それを見失わないよう、がんばっていきたいと思います。



本郷キャンパスの屋上庭園でくつろぐ

っていますか。

山本・西川 学校とは違いますね。臨機応変さも必要なので、とてもためになっています。

—これからやってみたいことはありますか。

西川 私は、3年生から認定留学をしたいです。

山本 とりあえず今の生活を維持し、授業もバイトも部活もうまくやっていたら良いと思っています。

—3年生から本郷キャンパスに移動しますが、本郷キャンパスのイメージは。

山本 とてもきれいですね。

西川 都会だと思っています。

# いきいき 卒業生だより

## TOGAKU 三人娘

### 「良い仕事をしています！」

明治安田生命保険相互会社2009年4月入社(人文学部国際コミュニケーション学科2009年3月卒業)

写真左から、角田 仁美さん  
水野 末規さん  
片岡 美絵さん

インタビュアー  
キャリアセンター 橋 靖子



たり、お手紙を送って保険のフォローをするなど、事務的作業から営業まで幅広い仕事をしています。  
角田 保険を売るというよりも、買っていただいた後のフォローを中心にやっています。  
——今のお仕事のやりがいは、どのよう

——学生のときは、社会人もしくは仕事に対して、どのようなイメージを持っていましたか。

水野 漠然と大変だと思っていました。  
片岡 大学では勉強していた時間をずっと働いている＝お給料を頂いているというイメージ。私はキャリアウーマンに憧れていたの、バリバリ仕事している女の人の格好いいイメージがありました。

角田 仕事をしていく中で、社会人として人間として、自分自身を高めて常にスキルアップしていくための場所。

——営業の仕事にどのようなイメージを持っていましたか？

水野 常に成績を示す棒グラフが壁に貼ってあって、成績を競う。

片岡 季節ごとのそれぞれの厳しさに耐えながら、お客様に頭を下げて回って大変だろうなあとと思っていました。でも、その中に、やりがいがありそうな気がしていました。

角田 寒い日も暑い日も足を使って歩きまくる、というイメージでした。

——営業職に就かれたわけですが、実際どのような仕事をしていますか。

水野 お客様とお会いし、お話を聞いて、保険のプランをご提案すること。

片岡 担当の職場に出向いて、保険の説明をします。お客様にアポイントを取っ

なところでしょうか。  
水野 お客様とお会いして、笑ってお話できること。

片岡 出会ったお客様が笑顔を下さること。「ありがとう」「ご苦労様」と声を掛けて頂いた時や頼っていただいた時には、人と出会える仕事の良さを感じます。

角田 正直まだやりがいが何か模索中です。

——これからのお仕事に関して、目標を教えてください。

水野 まずは、お客様とたくさんお話して、その方の考え方や気持ちを理解すること。

片岡 契約をいただくことが一番の目的ですが、それ以前にお客様に必要とされることが大切だと思います。学生時代は、自分の存在を知ってもらうことはそれほど難しいことではなかったのですが、社会に出るとこれが一番難しいことなのかもしれません。まず、`私、を知ってもらう` `保険、の大切さを知ってもらう`ことが目標です。

角田 早く一人で一つ一つの仕事をできるようにすること。

——社会人になってから、自分自身が成長したと思うのは、どんなことですか。

水野 まだ少しずつですが、計画を立てて物事を進めようとするようになりました。

た。  
片岡 時間を気にして行動するようになりました。時間厳守は絶対です！

角田 自分自身の変化はあまり感じていません。

——穴があったら入りたいと思った失敗談があったら、教えてください。

水野 まだありません。

片岡 まだ、そんなに大きな失敗はありませんが、お客様の所へ行く際、地図が読めなくて注意されます。

角田 今はまだ特に思いつきません。

——後輩へのメッセージをお願いします。

水野 今やれることを言い訳せず、一生懸命やってください。

片岡 まだ、甘えさせてもらっていると

## 4年目の海外生活へ向かって

宇田川 治代  
(1996年卒業 人文学部英米地域研究学科第1期生)

2009年はシドニーでの海外生活が4年目になろうとしています。時間が過ぎるのは本当に早いものです。日本でオーストラリアの永住権を取得し、2006年に渡豪。シドニーに着いてから仕事を探して、すぐ現地の会社より正社員の内定を頂き、2カ月半後には初出社をしていま



した。仕事はカー・ナビゲーション業界向けの仕事で、お客様はオーストラリアに進出している日本人です。

日本では外資系の企業に長く勤めて英語も使用していましたが、現在は職場の土台が日本でなく他の国になりますので、実際は勤務に慣れるのにとっても時間がかかりました。

私は海外留学の経験がありませんでし

たことをとても深く考えさせられました。

私はリクナビ、マイナビ合わせて40社以上エントリーしました。実際受けた企業は20社ほどでしたが、この作業は情報を仕入れる上でもとても大事なことです。SPIなどの学力テストを重視している企業もありますし、していないと思われる企業もありました。中には、三次選考で学力テストを行う企業もあります。人柄は認められているのに学力で落とされるのは落胆につながるので、努力はしたほうがいいと思います。

私は「人と接する仕事」という大きな枠組みで、就職を目指しました。なぜな

と思いますが、想像以上に社会は厳しい所です。世の中さまざまな考え方の人がいて、当たり前前の方が当たり前前のごとして受け入れてもらえないときはとても辛いです。順応性が大切だと思います。また、一日があつという間に終わるので、目標を持ち、目的を明確にすることを心がけてください。毎日時間の経過の速さにビックリしています。要領よく効率的に仕事を進めていくことを考えていかなければ、ただ年齢を重ねていただけなあと感じています。

角田 今年度は特に就職活動が大変だと思いますが、ここで立ち止まらずに頑張って歩みを進めてください。

たので、このシドニーの生活が初めての海外生活。シドニーはいろいろな国の背景を持った人たちが集まって生活しています。職場も同様です。日本人は一人だけ働いていますので、みんな私を通して日本を見ていることだと思います。

海外生活をしていて、日本はとても素晴らしい国であることに気づかされます。礼儀正しさも、生活スタイルも、家族から社会から学ぶことも、それらすべてが他国から大きな信頼を得るまでに至った今日の日本の礎ではないでしょうか。そして私は日本人であるというアイデンティティを背景に、今後もさまざまな国の背景を持った人たちと出会い、様々な感情を経験していくことと思います。

東洋学園大学はこれまででも多くの卒業生を輩出されていますので、今後は卒業後のネットワークが強みな環境があれば、社会に出ても更なる活躍の機会に恵まれ、そのようになるようお願いいたします。

学生の方は今の現状に「焦る」ことが大切です。なぜならば、同年代でも世界ではもっと違う経験と経歴を持っている人たちが沢山いるからです。学生の時代にできるあらゆることにチャレンジしてみてください。在学生皆さんの今後のご活躍を期待しております。

## 新任です！

既におなじみの先生方ですが、今年度専任教員としてお迎えした方々を紹介します。

### 人文学部

#### 2030年の世界とは？

野林 健 教授

国際政治経済学担当

「百年に一度の危機」とまでいわれる現在の国際金融・経済危機の後の国際秩序とは。20年後の世界(西暦2030年)とは。グローバル化の行方とは。これらの難問に、諸君とともに取り組みたい。「ローマは一日にして成らず」。日々の努力あるのみ。



#### 特別講師

## 就職活動奮闘記

### 40社以上にエントリー

人文学部人間科学科4年

田代 正裕

私の就職活動は順風満帆に終わるものではありませんでした。もちろん順風満帆に終わる人のほうが少ないでしょうが……。「就職活動は辛く長いもの」。そのようなイメージを持っていましたが、まさにその通りでした。企業を探るところから始め、説明会、一次選考、二次選考……。

まさに、長い道のりを何度も繰り返してきました。時には理不尽なことを言われ、企業とはなにかを考えることもありました。就職するとはなにか。働くとはなにか。世の中はどう動いているのか。これからの自分の人生はどうなっていくのか。今まで漠然としか考えていなかった



厳しい就職環境を反映し会場には熱気が

2009年1月14日、15日に本郷キャンパスの体育館を会場にして、キャリアセンター主催の学内企業セミナーを開催しました。このセミナーは、企業の採用担当者や就職を希望する3年生の出会いの場として例年開催しており、今年は2日間

らたくさんの人に出会いたい、人と接する事は自分自身の成長にもつながると思ったからです。どんな仕事かではなく、どのような場所だと自分は成長できるのかという面でも企業を探すのもよいのではないのでしょうか。

そこで、これから就職活動を始める方へ。とにかく行動すること。少しでも興味のある会社を見つけたら動くこと。面倒くさいと感じることもあるかも知れませんが、しかし、そこで自分の運命を変える人に会えるかもしれないのです。

就職活動は答えのないものだと思います。しかし就職活動は確実に自分自身を成長させてくれました。

## 学内企業セミナー 61社 学生350人

### 過去最大の規模に

合計で企業61社、学生約350人が参加するという過去最大の規模となりました。

旅行会社のJTBグループを始め、京王プラザホテルやセルリアンタワー東急ホテルなどのホテル業界、また東京トヨタ自動車、朝日信用金庫、丸三証券、スターゼン、オンワード樫山、ベネッセスタイルケアなどさまざまな業界の話聞くことができる機会となりました。

学生の皆さんは、メモ帳とペンを手し、企業の説明に必死に耳を傾け、積極的に質問をしていました。このセミナーがきっかけで企業に興味を持ち、内定を獲得した学生も多数います。経済環境の悪化により、学生の就職環境は大変厳しくなっています。

今年度についても、12月ごろに同様のセミナーを予定していますが、厳しい環境だからこそ、3年生皆さんの積極的な参加を期待しています。

(キャリアセンター報告)



Eleanor ROWLEY  
出身：U. K.  
担当科目：  
基礎英語等



Gerald TALANDIS Jr.  
出身：U. S. A.  
担当科目：  
基礎英語等



阿南 大  
担当科目：  
情報処理基礎等



水野 有希  
担当科目：  
情報処理基礎等

## 英語教育開発センター(EEDC)より

英語特別選抜クラス(ALPS)  
今年4月より開講  
英語の頂を目指します

人文学部国際コミュニケーション学科2年  
水江 彩

私がALPSの授業を19人の友達と受け始めて早4カ月が経ちました。与えられたテーマに沿ったPRESENTATIONや、ASSIGNMENTという

英語の論文のようなものと多くの宿題に取り組みながら今、SKILL UPしています。ネイティブの先生方に見守られながら、このやりがいのあるALPSの授業を楽しみながら頑張っていきたいと思っています。

## EEDC インターンシップ留学生

～日本で素晴らしい！～

Christina WOODS  
出身：U.K.

私はインターンシップ学生としてイギリスからやって来たクリッシーです。時間の経つのは早いもので、もう10カ月が過ぎてしまいました。日本語がわからない私を皆が温かく迎えてくれて、すぐに日本になじむことができました。東洋学園大学ですごした日々はかけがえのないもので、同世代の学生と知り合ったり、彼らの勉強を手伝ったりしながら、私は先生になりたいという思いを強くしています。

関西旅行や皇居への一般参賀、大晦日の浅草寺、カラオケ、抹茶アイスなどを初めて食べた瞬間など、たくさんの思い出が駆け巡っています…また日本に戻ってきたいです！東洋学園の皆の親切とチャンスを与えてくださったことに、心からありがとうございます！！

マイクロソフト認定資格  
本学が特別賞を受賞

受講者急増 強い「思い入れ」

この度、本学はエクステンションセンター主催のマイクロソフト認定資格MO S (Word・Excel) において、「オデッセイスクールオブザイヤー」特別賞を受賞いたしました。この賞は、株式会社オデッセイコミュニケーションズが運営する資格試験「マイクロソフト認定資格」を実施している全国の優良な教育機関に対し毎年行っている表彰です。

本学では実践能力の高い学生の育成を目指すためにWord・Excelを2004年に導入し、当初72名の受講者から2008年には341名に成長させることができました。今回「特別賞」となった理由は、上記の受講者数の急成長にも見られるように本学がスキルの高い学生の育成に真剣に取り組んでいる「思い入れ」に対するものと聞いております。また、合格率ほぼ100%という「学生の努力」に対するものでもあります。

さらに今年度よりWord・Excelに加えてPowerPointも導入し、より「ITが活用できる人材、を社会に輩出できるよう取り組んでおります。

(エクステンションセンター報告)

東洋学園大学 資格取得(ワード・エクセル)  
2004年度と2008年度の受講者数の比較

2004年度	
流山・前期	Microsoft Office Specialist Word2002 7
本郷・前期	Microsoft Office Specialist Word2002 18
流山・後期	Microsoft Office Specialist Excel2002 7
本郷・後期	Microsoft Office Specialist Excel2002 29
合計 72	

2008年度	
流山・前期	Microsoft Office Specialist Word2003 84
本郷・前期	Microsoft Office Specialist Word2003 93
流山・後期	Microsoft Office Specialist Excel2003 92
本郷・後期	Microsoft Office Specialist Excel2003 72
合計 341	

## 学生サポート室オープン！

愛称は「フレチャー」

5月27日、昨年より準備を進めてまいりました学生サポート室が、流山キャンパス9号館2階にオープンいたしました。原田副学長、松村室長によるテープカットの後、お菓子や飲み物を片手に、学生と先生方との歓談が和やかに繰り広げられました。

学生サポート室は、東洋学園大学生の皆さんに開かれた場所であり、学生にとっての総合窓口の役割を果たします。



テープカット後、和やかに歓談

学生一人ひとりの「分からない」「やってみよう」という声に答えていくことで、有意義な学生生活を送ることができるようサポートしていきます。

悩み事、就職に関する不安、履修面などの相談に、スタッフや教員が対応します。また、学部や学年を超えて交流してもらえるようなイベントも企画します。「こんなことができたらもっと楽しいな」などといった学生目線での提案もお待ちしております。

学生から募集した学生サポート室の愛称は、「フレチャー～フレフレ student～」に決まりました。学生を応援する場所というイメージにぴったりだと思いますか？HPやブログも活用してください。(学生サポート室報告)

コンニチハ  
留学生だより

人文学部国際コミュニケーション学科  
4年

李 奇 (中国出身)

## 研究に議論は不可欠のはず

私は中国からの留学生で来日7年目です。海外留学の目的は、国際的な視野を広げたかったからです。この留学により、日本文化だけでなく、欧米の文化も学ぶことができました。

大学に入って、最も印象に残ったのは、授業中先生同士、学生と先生の間で議論することがほとんどないことです。大学は本来、義務教育を終えて、更に研究を深めたい学生のための機関として存在しているはずなのに、自分の研究テーマはもちろん、先生のテーマや学生同士のテーマに対して、疑問をあまり持たず、問題に対する考え方について深く追求せず、反対意見があっても表現しない学生がいます。私は、それでは大学を十分に活用できていないと思います。

文化的側面からいえば、日本人は、人に対して敬意を払いたいと考えているのかもしれませんが、問題に対する追求意欲のなさが研究するチャンスを失ってしまうこととなります。



## 沖縄県人会

## 元気に活動中！

人文学部国際コミュニケーション学科  
2年

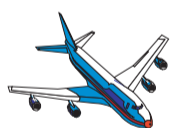
仲門 未来

沖縄県人会は、2008年4月に青森県人会と同時に発足しました。現在、沖縄出身の在校生は18名となります。

県人会は、「故郷を愛し、母校を愛す」をスローガンに、第一に沖縄出身の仲間同士で親睦を深めること。第二に学園祭などを通して沖縄文化を本土の方に知



てもらおうことを活動内容としています。生まれ育った場所が遠い私たちにとっては、同郷の仲間や先輩たちとの触れ合う機会となり、とても心の支えになっています。また、最近では、放課後に教室を借りて『ナビィの恋』という沖縄の映画

海外に  
行きました

## アメリカ留学体験記

人文学部国際コミュニケーション学科  
3年

永岡 勇也

## 素晴らしいホストファミリー

私は2009年春に行われた、短期留学アメリカプログラムに参加しカリフォルニア大学アーバイン校に留学しました。

アメリカでの生活は、大学に行って授



業を受けて、放課後は友達とビーチに行ったり、ショッピングに行ったり……同じようなことの繰り返しだったので、どこに行っても英語に触れられ、英語の勉強ができる刺激的な毎日を送っていました。

日本とは全く違う環境のアメリカで生活して、カルチャーショックはあまり感じられなかったのですが、日本の悪いと

ころや、良いところ、さまざまな面を見ることができました。

ホストファミリーはとても親切で、この人たちがホストファミリーではないアメリカ留学は考えられないくらいです。ホストファミリーは留学をするにあたって、とても重要な存在で、日本語の通じないアメリカで唯一の心の支えになると思います。ホストファミリーがアメリカでの生活を左右すると言っても過言ではないです。

アメリカ留学を終えて、英語の能力が上がったとは言いがたいですが、この留学が自分の人生にとってとても影響を与えたことは言うまでもなく、得たものは数え切れないほどあります。



## 中国短期留学体験記

現代経営学部現代経営学科 3年

石久保 光希

## 中国語を基礎から 授業は英語

私は2009年春に行われた、短期留学中国プログラムに参加し華東師範大学(上海)に留学しました。

今回、中国短期留学プログラムに参加して、色々な経験をすることができました。私は初めての海外だったので不安もありましたが、友達と一緒にその心配も減り、逆に中国とはどんな所なのか、何があるのかなど、興味と期待感でいっぱいでした。

研修先の華東師範大学では、基礎から

先日、私は本学の先生方が主催する勉強会(国際政治経済研究会)に参加しました。この時はアメリカのオバマ大統領のことについての研究でした。貴重な話を聞くことはできましたが、先生方と学生が意見を交換するまでで、議論することはありませんでした。知識不足も一因と思いますが、意見の交換だけでは結論は出ません。物事に対する自分しか持っていない意見があるはずで、それらで議論を重ねれば、より成熟した結論を出せることとなります。

ゼミ講義でも、学生の発表後、質問する人は少ないし、先生に指名されてはじめて発言する人が多いです。先生が話している時に質問するのは失礼と考え、遠慮している学生もいると思いますが、私は高校時代、数学の問題の解き方で先生と口論したことがありました。でもそのおかげで、数学の問題を解く時により合理的な計算方法を考えるようになりました。学問をするなら、常に疑問を持ってやるべきだと思います。人に対して敬意を払うことは大変いいことではありますが、それは、結果として学問に対する意欲の低下に繋がる恐れがあると思います。

私は大学生として、追求する姿勢が何よりも大切だと思います。それにより、物事を深く考えるようになっていくのです。卒業後就職先で、君は大学時代何を研究したかと聞かれた際にはっきりと答えられないと、私は大学の卒業生として失格だと思います。せっかく最高学府の教育を受けているのだから、先生と学生両方が、学問交流の場を作り上げていくことが大切だと考えています。

を上映しました。ご鑑賞頂いた教職員の方々にもとても好評でした。

去年の鯊鯊祭では、エイサー演舞とひらやあーち屋(沖縄風お好み焼き)を企画しました。エイサーでは、沖縄県出身の学生と教職員も参加しました。ひらやあーちは焼けば焼くだけ売れていくのですが、焼き時間がかかるため、あまり効率よく販売できませんでした。また、作る人によって厚さが違うのが難点でした。今年の鯊鯊祭ではエイサー演舞と、沖縄そば屋を企画しています。

これからも「琉球の心」を忘れず活動していきたいと思っています。

中国語を学びましたが、解説は英語で行われるため、日本では受けられない授業が体験できて良かったです。

また、留学先での暮らしは全員同じ寮生活なので、一緒に授業を受けたり、夜



ご飯も一緒に食べたりするので、みんなと仲良くなれて毎日楽しく過ごすことができました。午前中は授業ですが、午後は留学先である上海市内を観光できるので、実際に中国の街並みや歴史に触れられ、とてもいい勉強になりました。

そして、個人的に一番楽しみにしていた動物園でパンダに会えた時は、とても嬉しく感じたことを、今でも鮮明に覚えています。

こうして何か留学先でやってみたいこと、見たいものがあると、それだけでも行って良かったなと思えます。その結果、すべて自分自身へのいい糧になり、また留学をきっかけに友達もできたので、本当に楽しく、充実した2週間でした。とても安心できるプログラムなので、留学が初めてな方にもぜひ参加してほしいと思います。

3部昇格で新たな誓い



個性豊かな新人6人  
飛躍する女子テニス

人文学部人間科学科4年  
小澤 里恵子(女子テニス部主将)

東洋学園大学女子テニス部に入部して今年で4年目。昨年3月に佐藤淳一監督を迎え、田中菊子先生、佐藤監督の下で部活を始動させて2年目。一昨年の4部昇格、そして昨年の3部昇格…。今振り返って **今年は2部昇格!** みると本当に沢山の皆さんに支えられたからこそここまでやってける事ができたのだと思います。江澤雄一理事長先生や一ノ渡尚道学長先生はじめ、応援して下さる教職員の方々、時に厳しく、時に優しく指導して下さる田中先生、佐藤監督、そしてチームの仲間達。部活生活もあと数カ月となり、皆様の支えがあった

からこそ今の私が、そしてテニス部があるのだと切に感じています。そんな女子テニス部ですが、今年は新たに6人の個性豊かな新入生を迎え、9月から1カ月かけて行われるリーグ戦に向け日々練習とトレーニングに励んでいます。もちろん今年の目標は3部リーグ優勝、そして2部昇格です。上部校と対抗戦をする度に2部昇格が夢ではないことを実感する一方で、3部リーグ戦の一戦一戦が気の抜けない激戦になるであろうことも痛感しています。リーグ戦が始まるまで残り2カ月。応援して下さる皆様のためにも、自分たちの目標をかなえるためにも、それぞれがチームの一員であるという自覚を持ち取り組んでいきたいと思っています。

今年の学園祭は10月17日、18日

目指せ 来場者1万人!

人文学部国際コミュニケーション学科2年  
串田 賢弥(学園祭運営局局長)  
今年で17回目を迎える学園祭、通称鯖鯖祭(ひれひれまつり)。今年のキャッチフレーズは「PEACE〜平和という名のスイッチを押せ!!!〜」。「平和」を題材にさまざまな企画を現在局員で検討しています。また毎年恒例のちびっこ企画、小学校



盛り上がる昨年の鯖鯖祭

作品展などをはじめ、昨年からスタートしたアーティストライブも企画します。その他にも昨年の学園祭の反省を活かし、地域交流・フリーマーケットの参加者募集などを増やしていきたいと思っています。また、有志団体の参加などの呼び掛けも盛大に行い、多くの方々に楽しんでいただける学園祭に仕上げるつもりです。来場者数も回を重ねるごとに増加。昨年は7000人以上の皆さんにご来場いただきました。今年は大台の1万人を目標に学園祭本番まで突っ走っていきますのでご声援よろしくお願いたします。皆様のご来場、局員一同お待ちしております!

すか?」と聞かれたときに、学生スタッフのことを話しました。先程の出会いのことや全体説明会のスピーチをしたことなど、話すネタには困りませんでした。中でも、人前で話す機会が多かったことで度胸が付きました。また、近い将来に新入生が「あのオープンキャンパスの感じが良くて!」と学生スタッフになってくれたら幸いです。

8人に学部長賞!



6月29日、人文、現代経営両学部合同の学部長賞授与式が執り行われました。今回の受賞者は人文学部から6名、現代経営学部から2名(以下参照)。学生の皆さんは少し緊張しながらも終始笑顔で和やかな雰囲気の中授与式となりました。表彰の際には両学部長より受賞された学生の皆さん一人一人に「おめでとう!」とのお祝いの言葉を頂き、皆さん一様に感激の様子でした。受賞者の皆さんからも「これまでの努力が報われた思いです」「これから更に努力を重ねていきます」「先生方のご指導のおかげです」といったコメントもあり、今後の励みとなったようです。  
【学部長賞受賞者】  
・人文学部国際コミュニケーション学科4年 加藤秀子さん(受賞理由:日本語教

- 育能力検定試験合格)  
・人文学部国際コミュニケーション学科3年 佐久間美里さん(受賞理由:国内旅行業務取扱管理者試験合格)  
・人文学部国際コミュニケーション学科3年 澤田希望さん(受賞理由:国内旅行業務取扱管理者試験合格)  
・人文学部国際コミュニケーション学科4年 谷口和哉さん(受賞理由:国内旅行業務取扱管理者試験合格)  
・人文学部国際コミュニケーション学科4年 山崎隆正さん(受賞理由:国内旅行業務取扱管理者試験合格)  
・人文学部人間科学科4年 貝澤智さん(受賞理由:教育カウンセラー補試験合格)  
・現代経営学部現代経営学科3年 小川太朗さん(受賞理由:東関東大学軟式野球連盟最優秀打撃賞受賞)  
・現代経営学部現代経営学科3年 藤原健人さん(受賞理由:東関東大学軟式野球連盟中央地区ベストナイン受賞)  
(学生部 報告)

学スタ 度胸 満点に!

現代経営学部現代経営学科4年 能代谷 良太



私は今ではたくさんのオープンキャンパスに参加し、高校生のご案内をしています。私がオープンキャンパスの学生スタッフを始めたきっかけは、以前から学生スタッフとして活躍していた友人の話からでした。「先輩は丁寧に仕事を教えてくれる。何より、オープンキャンパスをいいものにしようという一体感がある」。この言葉を聞いて、私もやってみようと思いました。いざ、私が学生スタッフとして活動を始めてみると、話聞いていた通りで充実した時間を過ごしています。その理由は多くの出会いがあるからです。一緒に頑張っている学生スタッフ、職員のみならず、ご参加頂いた高校生と保護者の方々……。大学の授業の内容を話したり、キャンパスツアーで学内をご案内したりなど、接し方はさまざまですが、出会い一つ一つの経験から自分の成長を感じます。そして、この経験は就職活動でも活かすことができました。面接で「学生生活で印象に残ったことは何で

短歌で入選

東洋学園大学 佐田公子非常勤講師  
日本語表現法の授業で創作してもらった作品が2008年9月27日に行われた日本歌人クラブの全日本ジュニア短歌大会の高校生・大学生部門で、入選しました。短歌は、決して難しいものではありません。また、古風なものでもありません。四季折々の動植物や日頃思っていることを、五・七・五・七・七のリズムに乗せて歌ってみましょう。恋の歌、学生生活の歌、皆さんの年代にしかできない短歌をあなたも作ってみませんか?入選した人たちの短歌は、皆さんも経験したことのあるような何気ない学生生活を歌ったものばかりですね。短歌は、電車の中でも、トイレの中でも、紙と筆記用具さえあれば、どこでもできます。携帯にメモしてもいいですね。悩んでいること、嬉しいこと悲しい

ことを短歌に素直に表してみましよう。自分を見つめる機会にもなって、世界が広がってきますよ。時にはメールで、優しい気持ちや恋や友情を短歌でやり取りするのもステキですね。

- 佳作  
○小川 太朗(現代経営学部現代経営学科3年) 試合前 好きな子からの 応援に 別のドキドキ また加わった  
○田村 真一(現代経営学部現代経営学科3年) アルバイト バイクに乗って ピザ運ぶ 右へ左へ とにかく逃げ  
○田浪 慎也(現代経営学部現代経営学科3年) この雪は いつもと違う 恋人のはしゃぐ姿に 見とれていれば 奨励賞  
○宇佐美 朝比古(現代経営学部現代経営学科3年) 梅雨の日に 流れる雨は 地に戻り あじさいの花 いっぱい咲かす

雨にも負けず! 体育祭開催

人文学部国際コミュニケーション学科2年

宇田川 龍太郎(体育祭運営局局長)  
今回で18回目を迎えた体育祭。今年は6月6日に開催しました。前日からの雨の影響で、当日は残念ながらフットサルは中止にせざるをえませんでした。それ



バスケットボールでも熱戦

でも200人以上の参加があり、バスケットボール、バレーボール、バドミントンと、各競技に出場した学生の皆さんはもちろん、応援に駆けつけた観客も大いに盛り上がり、とても充実した体育祭になったと思います。我々体育祭運営局としては、大きなけが人も出ず、無事に運営できたことが一番良かったことです。また今回は、体育祭初めての試みとして、参加賞に毎年恒例のお弁当と飲み物に加え、体育祭オリジナルのハンドタオルを用意しました。新入生にはもちろん、在学生の皆さんにも好評だったようです。

女子短大 同窓会開く

東洋学園大学 原田規稜子副学長  
紫陽花の残り香がさわやかな7月4日

に2009年度東洋女子短期大学同窓会が開催されました。写真。東洋女子短期大学同窓会の戸田直子会長からは江澤雄一理事長、一ノ渡尚道学長の叙勲のお祝いが述べられました。今年の特徴は学校法人東洋学園のもと設立された東洋女子歯科医学専門学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学からの同窓生が一堂に会したことです。このことは長年、学校が望んできたことですが、実現に至らなかったのです。

東洋学園大学同窓会の栢尾健会長のご挨拶の中で、「3つの学校の同窓生が一緒に集うオール東洋学園のホームカミングデーを是非学校として開催してほしい」というご要望が出されました。それを機に3つの学校の同窓生が東洋学園大学を支え、卒業生と在学生の絆を深め、在学生の社会への出発を支えたいという



温かいご挨拶に会場から大きな拍手がわきました。さらに短大の学部長として長年同窓会を支えてこられた日高佳先生からも、歯科医専の大先輩の安生信子先生からも東洋学園フェロウシップの設立のアドバイスを頂いていたことも披露され一段と盛り上がりました。本学の80年の歴史が一本の線につながった感動を覚えました。学校としては是非実現に努力したいと思っております。

クラブ紹介 Laugh&Peace 部昇格でさらに充実

人文学部人間科学科3年 黒川 佑樹(Laugh&Peace 部長)  
私たち、Laugh&Peaceは現在、1年生7人、2年生9人、3年生5人、4年生3人の計24人で、流山キャンパスにある部室を中心に毎週金曜日に活動しています。活動内容は映像・演劇研究ということで、発声や表現の練習、学園祭で上映する作品の決定、決定した作品の撮影、学校行事の撮影をメインに行っています。作品の撮影に関しては、もっぱら夏休みなどの長期休暇中に集まり撮影するという形を取っています。昨年度より部に



新人を大歓迎します

昇格したことで、金銭面的な余裕もでき、幾らか撮影機材を購入できたことで、撮れる作品の映像的な質は多少なりとも上がったと思います。幸運にも私たちは本郷・流山キャンパスという非常に撮影しがいのある恵まれた環境にありますので、今後ともこの環境をうまく使い、時には外部の協力も借りながら頑張っていきたいと思っています。